



こんにちは♪

民主苦小牧号外
2025年
12.21
No.1122

日本共産党市議会議員



小野寺ゆきえです!

パンダがいなくなる（涙）

2頭のパンダが中国に返還されることになり、日本のパンダはいなくなります。私はとても残念です。マスコミは、高市首相による「台湾有事発言」で日中関係が悪化したため、再びパンダが日本に来るかどうかは見通しが立たないと報じています。

パンダが日本に来た時、私は5歳でした。テレビには毎日のように可愛いパンダの姿が映り、私が幼少期を過ごした夕張市でも大フィーバーでした。私と1歳年上の姉は両親にねだり、お揃いのパンダのぬいぐるみを買ってもらいました。すごく嬉しかったのを覚えています。

カンカンとランランと名付けられたパンダは、1972年の日中国交正常化のシンボルとして中国から贈られました。当時首相だった田中角栄さんが中国へ行き、毛沢東主席と会談して正常化に至り、「平和友好関係を強固にし、発展させる」約束しました。

カンカンとランランが日本に来たのは10月28日、『正常化宣言』は9月29日なので、わずか1ヶ月で贈ってくれたことになります。双方の友好ムードが高まったことで、異例のスピードになったようです。田中角栄さんが日本からパンダがいなくなってしまうことを知ったら、ガッカリするでしょうね。そして、中国との関係を悪くした高市首相を怒っているのではないのでしょうか。

2008年には、当時の首相福田康夫さんと胡錦濤さんとの間で『日中共同声明』を発表しています。その中には、72年の『正常化宣言』やその後の友好条約などを「遵守する」ことが約束され、「日中双方は協力のパートナーであり、互いに脅威にならない」ことも確認しています。そして、現代でもこれは有効です。

これまで中国が行ってきた尖閣諸島周辺での行為は、中国側に問題があると思います。しかし、それを理由にアメリカと協力して中国を懲らしめようという自民党政権はもっと問題です。日中間の問題にアメリカが係わることも大問題です。さらに、高市首相の「台湾有事発言」は日中間の約束からみて、最悪の発言です。

首相は発言を撤回して謝罪し、「これまでの約束通りに友好関係を築きましょう」と言えば良いのです。それが、緊張を鎮める唯一の方法です。そうすれば、またパンダが日本に来てくれるかもしれませんね。